

1. 主題構成表

主題名 生命の尊さ

資料名 あなたがもつ生きる力 出典：(文溪堂)

■内容項目 中D- (18)
 生命の尊さ
 (中) 生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること。
 (高) 生命が多く、生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること。

■内容項目から見た児童の実態 (意識)
 ・登下校では、自分の命は自分で守ることを自覚し、交通ルールを守って落ち着いて安全に登下校する姿が多くみられる。
 ・水泳の時間では、バディをくみ、プールサイドは走らず落ち着いて練習したりして、水の事故がないように意識しながら活動できる。
 ・すぐに喧嘩で手が出てしまい、命を粗末にしてしまう児童もいる。
 ・言われたことややってはいけないことは理解し、落ち着いて生活することはできるが、自分から何かを一生懸命がんばろうという気持ちが弱い。
 ■要因
 ・生命について深く考える機会が少なく、その生命の力についての理解が不足しているため、自分にはそんなに力がないと思ってしまう。

■資料の分析
 ・本資料では、特に葛藤場面のようなものではなく、生命の誕生について、おなかの中での成長の様子、赤ちゃんの心拍数について、産声の意味など具体的に語りかけるように説明している。
 ・たった0.25ミリメートルのものが50センチメートルに、つまり2千倍にもなるという事実、そして生まれるまでの奇跡ともいえる生命の営みには、すばらしいものがあったり、産声はこの世に生まれて一番はじめに自分の力でできたことであることを知ったりする中で、心に受けたその感動を大切にしていきたい。
 ・資料から心に残ったことなどを話し合い、生命誕生の喜びや大切さを理解することができることはもちろん、教師自身が今、お腹に赤ちゃんがいることから、実際の赤ちゃんの大きさが分かる掲示や赤ちゃんの心音を聞かせながら、生命の神秘さを身近に感じることができる。
 ・お腹の中から、だれもが大きな力を発揮しこの世に生まれてきたことを知り、今生きていることに誇りをもち、生命を大切にしながら、一生懸命生きようと思うことができる。

■価値の分析
 ・生命を大切に尊重することは、かけがえのない生命をいとおしみ、自らもまた多くの生命によって生かされていることに素直に応えようとする心の表れと言える。
 ・中学年では知識として、生命の誕生から死に至るまでの過程を理解するようになってきている。しかし、誕生の喜びや死の重さの場面を直接経験することは少なく、本当の意味で理解し実感しているとは限らない。このような実情に目を向け、生命を守るだけではなく、生きる喜びを実感し、「生」そのものを充実して輝かせることの大切さを深く意識することが必要である。
 ・この時期の児童は、自分の命は自分で大切に行動することは理解できているが、与えられた生命を一生懸命に生きることのすばらしさを考えたり、感じたりすることが欠けている。よって、生命を大切にすると同時に、どんな時でも一生懸命生きていこうとする心情を育てたい。

■ねらい
 お腹の中の様子や誕生の瞬間から生命のすばらしさを考えることを通して、自分が頑張ってきたことや生命のかけがえのなさに気づき、生命あるものすべてを尊いものとして大切にしようと考えたり、これから一生懸命生きていこうとしたりする心情を育てる。

■他の教育活動との関連

<p>■事前 日常生活 命は大切なものであり、自分の命は自分で守ることを意識し、行動することができる。しかし、日常生活において、一生懸命活動しようとする姿に弱さがある。</p>	<p>■本時 「あなたがもつ生きる力」</p>	<p>■事後 日常生活、学級活動 ・1学期残りわずか、1人1つ今まであきらめていたことを頑張り切っていく活動を行う。そして、その頑張りやを毎日交流していく。 ・一学期の終わりに自分の宝物発表を行い、一生懸命頑張ったことを発表し合う。</p>
---	--	--

■「私たちの道徳」の活用 (授業前・授業中・授業後)
 (活用の仕方) 3・4年：p90 の「生きているってどのようなことでしょうか」の内容にふれ、資料の導入を行う。

2. 学習指導過程

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>◇今までに思いっきり頑張れた、一生懸命やり切ったときの経験を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水泳で2.5m泳ぎ切ったこと。 ・運動会で声がかかるまで応援の練習をし、優勝したこと。 ・習い事で一生懸命頑張って優勝できたこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までに思いっきり何かを頑張った経験を話し合い、本当に自分の力を出してきたかを確認する。 ・私たちの道徳の90ページを提示し、ねらいとする価値への方向付けを図る。
展開前段	<p>◇範読を聞き、「あなたがもつ生きる力」について知り、感じたことを話し合う。</p> <p>○感想を発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おなかの中で2000倍に成長するなんてすごいと思った。 ・赤ちゃんの心拍数が120～140回で大人の2倍の速さなんてびっくりした。 ・お母さんだけでなく赤ちゃんも小さいのに頑張っていることが分かった。 <p>○自分が、お母さんのおなかの中で2000倍に成長したのは、一生懸命心臓を動かし、必死に生きていたことを知ってどう思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても小さいのにすごい能力だな。 ・そんなに速くてすごい。びっくりした。 ・とても大変だと思った。 ・赤ちゃんがずっと運動をしている時と同じように心臓を動かしているとはすごいな。 <p>○産声は自分が初めてできたことで、その産声を上げるまでのことを知ってどう思うか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人にもできないことをして頑張っている。 ・苦しいのにあきらめずに乗り越えたことがすごい。 ・生まれたばかりなのに赤ちゃんの力はとても大きいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感想では、心に残ったことを自由に交流する。 ・感想後、内容をしっかり把握するために、赤ちゃんの成長の様子が分かるように実際の大きさを提示し確認したり、心拍数をメトロノームや実際の音を使って感じ取ったりしながら、赤ちゃんの様子を理解し、発問する。 ・どの子もお母さんのお腹の中にいたことを確認し、全員が同じように生まれてきたことを押さえ、生命の尊さを感じるようにする。 ・生まれてきた赤ちゃんが、大人にしてみても膨大なエネルギーを使って産声を上げることを理解し、全員がその力をもっていることに共感させる。また、生きることを自分で選び、必死に苦しみを耐えながら、一生懸命生まれてきたことを感じ取ることができるようにする。 ・今から約10年前、この世で生きていくためにお腹の中であらゆる能力をもち、それを発揮しながら生まれてきた自分を考え、一生懸命生きようとする心情について考えさせたい。
展開後段	<p>◎「あなたがもつ生きる力」を学習して、どんなことを思いましたか。振り返りシートに書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がこんな苦しい中で生まれてきたなんて思ってもみななかったので、すごいなと思った。 ・これからも赤ちゃんのときに頑張って勝ち取って選んだ命を大切にしながら生活したい。 ・赤ちゃんのとき、苦しいことを頑張って乗り越えてきたので、これからも苦しいことがあっても頑張って乗り越えて行きたいと思った。 ・頑張って生まれてきた自分の命を大切にしながら、今までできなかったことをできるようにしていきたい。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈変容の見届け〉</p> <p>資料から自己の「生命の尊さ」についての考えの深まりを自覚したり、生命力のすばらしさに気付いたりするを通して、自分と同様に生命あるもの全てを尊いものとして大切にしようと考えたり、これから一生懸命に生きようとする思いをもっている。</p> </div>
終末	<p>◇教師の説話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の体験を話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と同様に生命あるもの全てを尊いものとして大切にしようとする気持ちをもたせる。 ・自分に自信をもって、一生懸命生きようとする気持ちを育てる。

